

JA自己改革2号

「食と農を通じて農業・地域を豊かに」

～10年後に向けた農業・地域づくり～

地域に密着したJAであるために（総合事業・准組合員制度）

JAは**総合事業**を営んでおり、農業関連事業のほか、信用、共済、高齢者福祉など様々な事業を行うことで、より多くの**皆さんの声**に答えられるよう、努めてきました。

また、JAの主体である農業者（正組合員）のほか、地域住民の方（准組合員）でもJAに加入して事業を利用することができる**准組合員制度**が設けられています。

このようにJAでは、様々な事業、農業者や地域の方々との結びつきを通じ、農業の

今、私たちのくらしが脅かされています（農協攻撃）

JAグループ鳥取では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、皆さんとともにJA自己改革に取り組んでいます。

私たちのこの取り組みは、平成33年3月までに政府によりその実践状況が調査されることとなっています。

調査結果によっては、皆さんとともに作り上げてきた**総合事業**が制限され、**地域農業の応援者である准組合員がJA事業を利用できなくなる等**、皆さんの農業やくらしに大きな影響が出るかもしれません。

皆さんの声を聴かせて下さい！（組合員アンケートの実施）

JAグループ鳥取では、**組合員アンケート**を実施いたします。

これからも、地域に寄り添ったJAであり続けるために、より一層、皆さんの声をJAの活動に反映していきたいと思っています。

次の日程でJA職員がお伺いした際には、本アンケートの趣旨をご理解の上、忌憚のないご意見、ご協力をお願いします。

【調査の内容】対象：組合員 1,500名（正組合員 750名、准組合員 750名）

実施期間：平成30年1月～3月

調査内容：JAの総合事業、農業関連事業、准組合員制度についてなど

調査方法：JA職員がご自宅にお伺いして聞き取りをいたします。

組合員の皆さまとJA自己改革の取り組み状況を共有するため、今後も広報誌に掲載してまいります。

自己改革 土づくりから 実践中！

